

平成30年7月13日

九州地方整備局

菊池川河川事務所

7月5日～8日梅雨前線による豪雨における りゅうもん 竜門ダムの効果について

◆竜門ダムの防災操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)

7月5～8日の梅雨前線による豪雨では、竜門ダムへ流れてくる水量の一部を竜門ダムへ貯め、下流の河川へ流す水量を最大で約6割低減させました。

◆竜門ダムの水位低減効果

ぎょくしょうじ わいふ
この操作により、ダム下流の菊池市玉祥寺隈府水位観測所において、河川の水位を32cm低下(氾濫危険水位^{※1}を避難判断水位^{※2}まで引き下げ)させる効果がありました。

※1:河川が氾濫する恐れのある水位や安全に避難するために避難を開始すべき水位

※2:市町村からの避難準備情報などの避難情報が発表される目安となる水位

※河川の水位や低下量などは速報値であり、今後変更になることもあります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 菊池川河川事務所

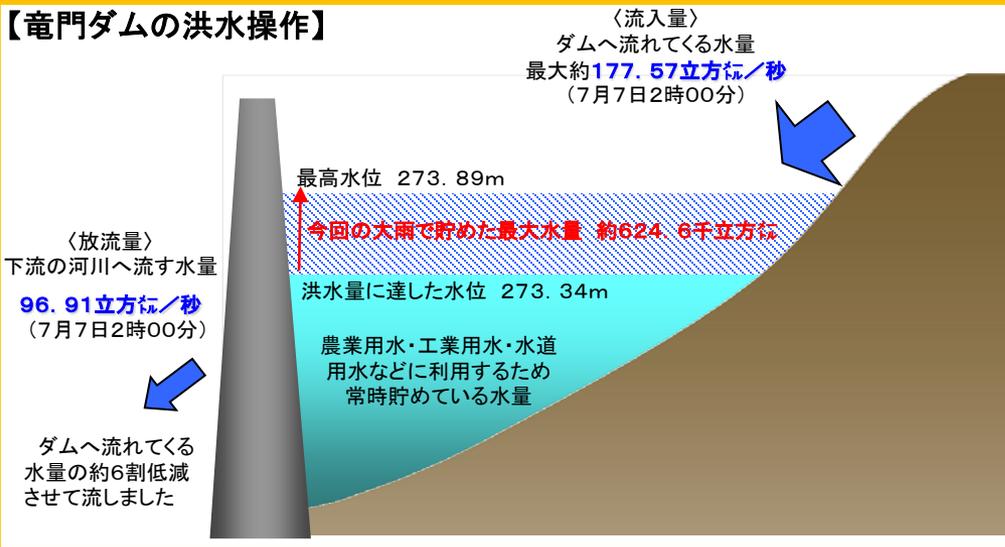
副所長 大林

TEL 0968(44)2171

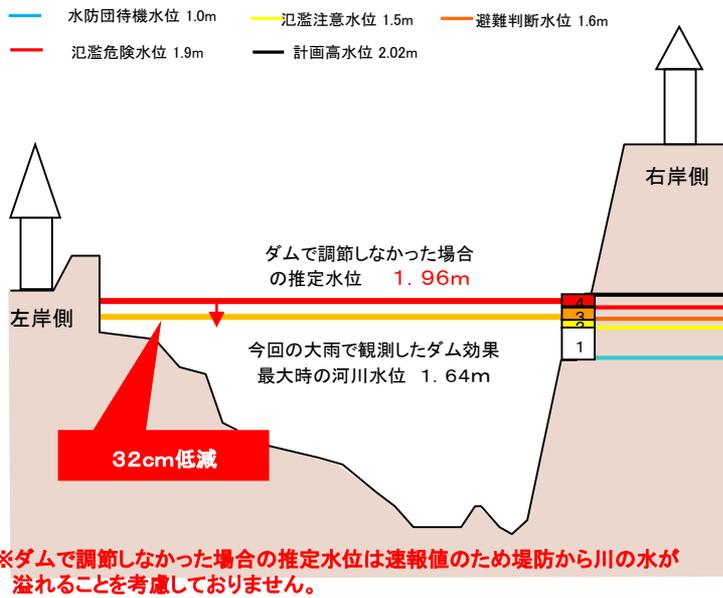
竜門ダム管理支所長 松本

TEL 0968(27)1120

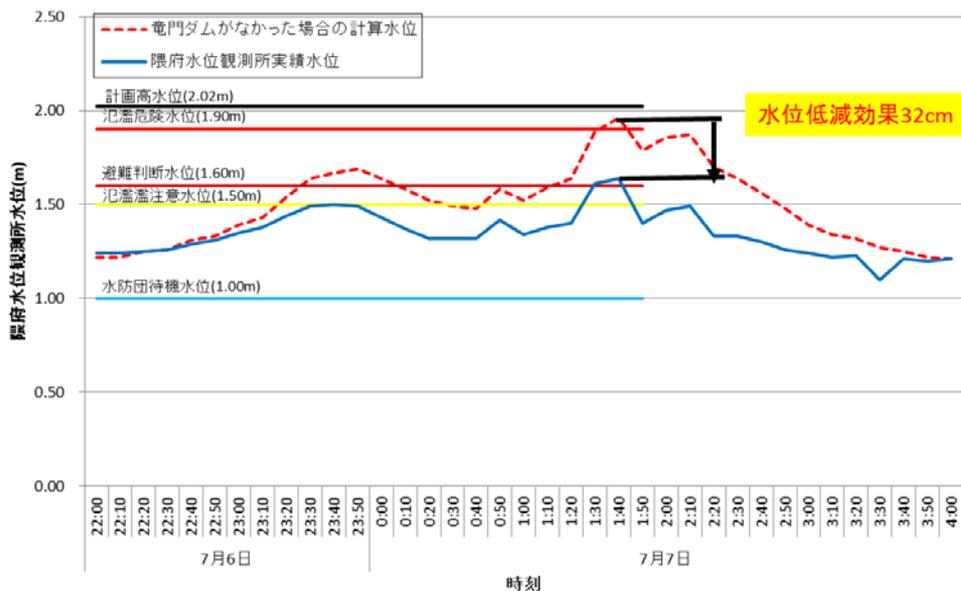
【竜門ダムの洪水操作】



【竜門ダムにおける水位低減効果(最大)】



【隈府水位観測所 観測水位】



【隈府水位観測所 状況写真】

